(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-349934
(P2004-349934A)
(43)公開日　平成16年12月9日(2004.12.9)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
H04N 7/14	H04N 7/14		5C064
H04B 7/26	H04M 11/00	302	5K067
H04M 11/00	H04B 7/26	M	5K101

審査請求 未請求　請求項の数 14　ＯＬ　（全 9 頁）

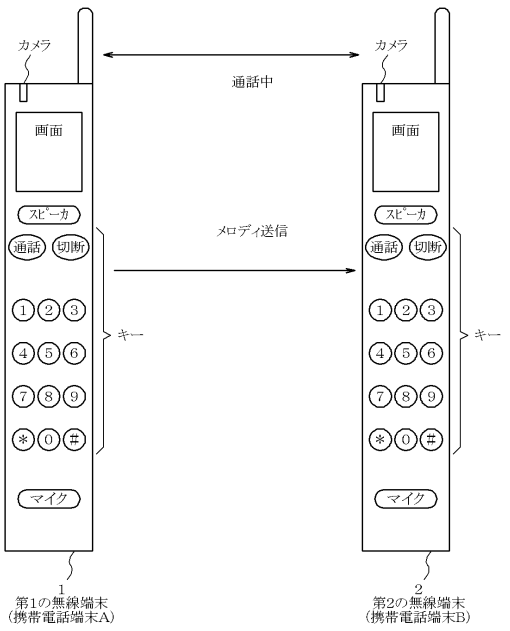
(21)出願番号　特願2003-143403(P2003-143403)
(22)出願日　平成15年5月21日(2003.5.21)

(71)出願人　000004237
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目７番１号
(71)出願人　390000974
ＮＥＣモバイリング株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目１６番８号（ＮＥＣ移動通信ビル）
(74)代理人　100109313
弁理士　机　昌彦
(74)代理人　100085268
弁理士　河合　信明
(74)代理人　100111637
弁理士　谷澤　靖久

最終頁に続く

(54)【発明の名称】テレビ電話方式及びテレビ電話方法

(57)【要約】
【課題】ＴＶ電話中にＴＶ電話に直接関係のないメロディやメッセージを送受しこのメロディを聞いたりメッセージを見たりすることができるようにする。
【解決手段】携帯電話端末Ａ１により、携帯電話端末Ｂ２とＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを携帯電話端末Ｂ２に送信し、携帯電話端末Ｂ２により、携帯電話端末Ａ１が送信したメロディを受けこのメロディを鳴動する。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
テレビ電話（以後、ＴＶ電話と記載する。）機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末との間でＴＶ電話するＴＶ電話方式において、
前記第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを前記第２の無線端末に送信する前記第１の無線端末と、
前記第１の無線端末が送信した前記メロディを受けこのメロディを鳴動する前記第２の無線端末と、
を備えたことを特徴とするテレビ電話方式。
【請求項２】
前記第２の無線端末は、前記第１の無線端末より受けた前記メロディを操作者の指示に従い保存したり破棄したりすることを特徴とする請求項１記載のテレビ電話方式。
【請求項３】
前記第２の無線端末は、前記操作者の予め有するキーの操作に従い予め定めたファンクションを設定することにより前記メロディを保存したり破棄したりするようにしたことを特徴とする請求項２記載のテレビ電話方式。
【請求項４】
ＴＶ電話機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末との間でＴＶ電話するＴＶ電話方式において、
前記第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従いメッセージを前記第２の無線端末に送信する前記第１の無線端末と、
前記第１の無線端末が送信した前記メッセージを受けて表示する前記第２の無線端末と、
を備えたことを特徴とするテレビ電話方式。
【請求項５】
前記第２の無線端末は、前記第１の無線端末より受けた前記メッセージを操作者の指示に従い保存したり破棄したりすることを特徴とする請求項４記載のテレビ電話方式。
【請求項６】
前記第２の無線端末は、前記操作者の予め有するキーの操作に従い予め定めたファンクションを設定することにより前記メッセージを保存したり破棄したりするようにしたことを特徴とする請求項５記載のテレビ電話方式。
【請求項７】
前記第１の無線端末と前記第２の無線端末とは、ＣＤＭＡ（ｃｏｄｅ　ｄｉｖｉｓｉｏｎ　ｍｕｌｔｉｐｌｅ　ａｃｃｅｓｓ）方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末であることを特徴とする請求項１又は４記載のテレビ電話方式。
【請求項８】
ＴＶ電話機能を有する無線端末間でＴＶ電話するＴＶ電話方法において、
第１の無線端末と第２の無線端末とによりＴＶ電話中に、前記第１の無線端末により、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを前記第２の無線端末に送信する第１のステップと、
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末が送信した前記メロディを受けこのメロディを鳴動する第２のステップと、
を含むことを特徴とするテレビ電話方法。
【請求項９】
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末より受けた前記メロディを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする第３のステップを含むことを特徴とする請求項８記載のテレビ電話方法。
【請求項１０】
前記第３のステップは、前記第２の無線端末の予め有するキーの操作に従い予め定めたファンクションを設定することにより前記メロディを保存したり破棄したりするようにした

ことを特徴とする請求項９記載のテレビ電話方法。
【請求項１１】
ＴＶ電話機能を有する無線端末間でＴＶ電話するＴＶ電話方法において、
第１の無線端末と第２の無線端末とによりＴＶ電話中に、前記第１の無線端末により、操作者の指示に従いメッセージを前記第２の無線端末に送信する第１のステップと、
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末が送信した前記メッセージを受けて表示する第２のステップと、
を含むことを特徴とするテレビ電話方法。
【請求項１２】
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末より受けた前記メッセージを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする第３のステップを含むことを特徴とする請求項１１記載のテレビ電話方法。
【請求項１３】
前記第３のステップは、前記第２の無線端末の予め有するキーの操作に従い予め定めたファンクションを設定することにより前記メッセージを保存したり破棄したりするようにしたことを特徴とする請求項１２記載のテレビ電話方法。
【請求項１４】
前記第１の無線端末と前記第２の無線端末とは、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末であることを特徴とする請求項８又は１１記載のテレビ電話方法。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明はテレビ電話方式及びテレビ電話方法に関し、特にテレビ電話（以後、ＴＶ電話と記載する。）機能を有する無線端末間でＴＶ電話するテレビ電話方式及びテレビ電話方法に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来のＴＶ電話は、相手の顔を見ながら電話をするために用いられている。
【０００３】
そして、例えば、特許文献１に開示されているように、従来のＴＶ電話は、ＴＶ電話機能を有する無線端末間で回線接続後、音声、画像、文字信号により電話に直接関係するデータを送受してコミュニケーションをとるようにしている。
【０００４】
【特許文献１】
特開平６－２９２１９５号公報（段落「００１２」から「００１４」）
【０００５】
【発明が解決しようとする課題】
上述した従来のテレビ電話は、ＴＶ電話機能を有する無線端末間で回線接続後、音声、画像、文字信号により電話に直接関係するデータを送受してコミュニケーションをとるようにしているのみなので、ＴＶ電話中にＴＶ電話に直接関係のないメロディやメッセージ等のデータを送受し、このメロディを聞いたりメッセージを見たりすることができないという問題がある。
【０００６】
本発明の目的はこのような従来の欠点を除去するため、ＴＶ電話中にＴＶ電話に直接関係のないメロディやメッセージ等のデータを送受しこのメロディを聞いたりメッセージを見たりすることのできるテレビ電話方式及びテレビ電話方法を提供することにある。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
本発明の第１のテレビ電話方式は、テレビ電話（以後、ＴＶ電話と記載する。）機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末との間でＴＶ電話するＴＶ電話方式において、

前記第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを前記第２の無線端末に送信する前記第１の無線端末と、
前記第１の無線端末が送信した前記メロディを受けこのメロディを鳴動する前記第２の無線端末と、
を備えて構成されている。
【０００８】
また、本発明の第１のテレビ電話方式の前記第２の無線端末は、前記第１の無線端末より受けた前記メロディを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする。
【０００９】
本発明の第２のテレビ電話方式は、ＴＶ電話機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末との間でＴＶ電話するＴＶ電話方式において、
前記第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従いメッセージを前記第２の無線端末に送信する前記第１の無線端末と、
前記第１の無線端末が送信した前記メッセージを受けて表示する前記第２の無線端末と、
を備えて構成されている。
【００１０】
また、本発明の第２のテレビ電話方式の前記第２の無線端末は、前記第１の無線端末より受けた前記メッセージを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする。
【００１１】
更に、本発明の第１と第２のテレビ電話方式の前記第１の無線端末と前記第２の無線端末とは、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末である。
【００１２】
本発明の第１のテレビ電話方法は、ＴＶ電話機能を有する無線端末間でＴＶ電話するＴＶ電話方法において、
第１の無線端末と第２の無線端末とによりＴＶ電話中に、前記第１の無線端末により、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを前記第２の無線端末に送信する第１のステップと、
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末が送信した前記メロディを受けこのメロディを鳴動する第２のステップと、
を含んで構成されている。
【００１３】
また、本発明の第１のテレビ電話方法は、前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末より受けた前記メロディを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする第３のステップを更に含んで構成されている。
【００１４】
本発明の第２のテレビ電話方法は、ＴＶ電話機能を有する無線端末間でＴＶ電話するＴＶ電話方法において、
第１の無線端末と第２の無線端末とによりＴＶ電話中に、前記第１の無線端末により、操作者の指示に従いメッセージを前記第２の無線端末に送信する第１のステップと、
前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末が送信した前記メッセージを受けて表示する第２のステップと、
を含んで構成されている。
【００１５】
また、本発明の第２のテレビ電話方法は、前記第２の無線端末により、前記第１の無線端末より受けた前記メッセージを操作者の指示に従い保存したり破棄したりする第３のステップ更に含んで構成されている。
【００１６】
更に、本発明の第１と第２のテレビ電話方法において、前記第１の無線端末と前記第２の無線端末とは、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末である。

【００１７】
【発明の実施の形態】
次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。
【００１８】
図１は、本発明のテレビ電話方式の第１の実施の形態を示すブロック図である。
【００１９】
図１に示す本実施の形態は、ＴＶ電話機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末とにより構成する。
【００２０】
第１の無線端末は、ＣＤＭＡ（ｃｏｄｅ ｄｉｖｉｓｉｏｎ ｍｕｌｔｉｐｌｅ ａｃｃｅｓｓ）方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末Ａ１であり、カメラにより操作者を撮影し、マイクにより操作者の音声を集音し、撮影した画像と、集音した音声を他の無線端末に送信する。また、他の無線端末より受信した画像を画面に表示し、音声をスピーカで鳴らす。
【００２１】
第２の無線端末は、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末Ｂ２であり、カメラにより操作者を撮影し、マイクにより操作者の音声を集音し、撮影した画像と、集音した音声を他の無線端末に送信する。また、他の無線端末より受信した画像を画面に表示し、音声をスピーカで鳴らす。
【００２２】
携帯電話端末Ａ１は、携帯電話端末Ｂ２と回線接続してＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを携帯電話端末Ｂ２に送信する。
【００２３】
携帯電話端末Ｂ２は、携帯電話端末Ａ１が送信したメロディを受けこのメロディを鳴動する。
【００２４】
次に、本実施の形態のテレビ電話方式の動作を図２を参照して詳細に説明する。
【００２５】
図２は、本発明の実施の形態の動作の一例を示し、本発明のテレビ電話方法の一例を示すフローチャートである。
【００２６】
図１において、図２のステップ２１では、携帯電話端末Ａ１の操作者は、携帯電話端末Ａ１のキーを操作して携帯電話端末Ｂ２に発呼する。
【００２７】
図２のステップ２２では、携帯電話端末Ｂ２は着信を示すメロディ等を鳴動し、携帯電話端末Ｂ２の操作者は通話キーを押下すると、携帯電話端末Ａ１と携帯電話端末Ｂ２は回線が接続され話ができる状態になり、携帯電話端末Ａ１の操作者と携帯電話端末Ｂ２の操作者とはそれぞれの画面を見ながら電話を始める。
【００２８】
図２のステップ２３では、操作者はＴＶ電話中に携帯電話端末Ａ１のキーを操作し、携帯電話端末Ａ１に予め格納してある複数のメロディのうちから携帯電話端末Ｂ２の操作者に聞かせたいメロディを選択しこのメロディを携帯電話端末Ｂ２に送信する。
【００２９】
図２のステップ２４では、携帯電話端末Ｂ２は、携帯電話端末Ａ１が送信したメロディを受けこのメロディをスピーカにより鳴動する。
【００３０】
図２のステップ２５では、携帯電話端末Ｂ２の操作者は、鳴動しているメロディを聞き、このメロディを保存したいときには携帯電話端末Ｂ２のキーを操作してメロディを保存することを指定するファンクションを設定する。一方、このメロディを破棄したいときには

携帯電話端末Ｂ２のキーを操作してメロディを破棄することを指定するファンクションを設定する。

【００３１】

図２のステップ２６では、携帯電話端末Ａ１の操作者と携帯電話端末Ｂ２の操作者とのＴＶ電話による話が終了し、携帯電話端末Ａ１の操作者又は携帯電話端末Ｂ２の操作者の操作により回線が切断されると、携帯電話端末Ｂ２は、ステップ２５で設定されたファンクションに従い、ＴＶ電話中に聞いたメロディを保存したり破棄したりする。保存したメロディは操作者のキー操作により着信メロディとして使用できる。

【００３２】

図３は、本発明のテレビ電話方式の第２の実施の形態を示すブロック図である。

【００３３】

図３に示す本実施の形態は、ＴＶ電話機能を有する第１の無線端末と第２の無線端末とにより構成する。

【００３４】

第１の無線端末は、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末Ａ３であり、カメラにより操作者を撮影し、マイクにより操作者の音声を集音し、撮影した画像と、集音した音声を他の無線端末に送信する。また、他の無線端末より受信した画像を画面に表示し、音声をスピーカで鳴らす。

【００３５】

第２の無線端末は、ＣＤＭＡ方式を用いＴＶ電話機能を備えた携帯電話端末Ｂ４であり、カメラにより操作者を撮影し、マイクにより操作者の音声を集音し、撮影した画像と、集音した音声を他の無線端末に送信する。また、他の無線端末より受信した画像を画面に表示し、音声をスピーカで鳴らす。

【００３６】

携帯電話端末Ａ３は、携帯電話端末Ｂ４と回線接続してＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを携帯電話端末Ｂ４に送信する。

【００３７】

携帯電話端末Ａ３は、携帯電話端末Ｂ４と回線接続してＴＶ電話中に、操作者の指示に従い作成したメッセージを携帯電話端末Ｂ４に送信する。あるいは、予め格納してある複数のメッセージのうちから送信すべきメッセージを操作者の指示に従い選択しこのメッセージを携帯電話端末Ｂ４に送信する。

【００３８】

携帯電話端末Ｂ４は、携帯電話端末Ａ３が送信したメッセージを受けて表示する。

【００３９】

次に、本実施の形態のテレビ電話方式の動作を図４を参照して詳細に説明する。

【００４０】

図４は、本発明の実施の形態の動作の一例を示し、本発明のテレビ電話方法の一例を示すフローチャートである。

【００４１】

図３において、図４のステップ４１では、携帯電話端末Ａ３の操作者は、携帯電話端末Ａ３のキーを操作して携帯電話端末Ｂ４に発呼する。

【００４２】

図４のステップ４２では、携帯電話端末Ｂ４は着信を示すメロディ等を鳴動し、携帯電話端末Ｂ４の操作者は通話キーを押下すると、携帯電話端末Ａ３と携帯電話端末Ｂ４は回線が接続され話ができる状態になり、携帯電話端末Ａ３の操作者と携帯電話端末Ｂ４の操作者とはそれぞれの画面を見ながら電話を始める。

【００４３】

図４のステップ４３では、操作者はＴＶ電話中に携帯電話端末Ａ３のキーを操作してメッセージを作成しこのメッセージを携帯電話端末Ｂ４に送信する。あるいは、操作者はＴＶ

電話中に携帯電話端末Ａ３のキーを操作し、携帯電話端末Ａ３に予め格納してある複数のメッセージのうちから携帯電話端末Ｂ４の操作者に見せたいメセージを選択しこのメッセージを携帯電話端末Ｂ４に送信する。

【００４４】

図４のステップ４４では、携帯電話端末Ｂ４は、携帯電話端末Ａ３が送信したメッセージを受け画面に表示する。

【００４５】

図４のステップ４５では、携帯電話端末Ｂ４の操作者は、表示しているメッセージを見て、このメッセージを保存したいときには携帯電話端末Ｂ４のキーを操作してメッセージを保存することを指定するファンクションを設定する。一方、このメッセージを破棄したいときには携帯電話端末Ｂ４のキーを操作してメッセージを破棄することを指定するファンクションを設定する。

【００４６】

図４のステップ４６では、携帯電話端末Ａ３の操作者と携帯電話端末Ｂ４の操作者とのＴＶ電話による話が終了し、携帯電話端末Ａ３の操作者又は携帯電話端末Ｂ４の操作者の操作により回線が切断されると、携帯電話端末Ｂ４は、ステップ４５で設定されたファンクションに従い、ＴＶ電話中に表示されたメッセージを保存したり破棄したりする。

【００４７】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明のテレビ電話方式によれば、第１の無線端末により、第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従い予め格納してある複数のメロディのうちから送信すべきメロディを選択しこのメロディを第２の無線端末に送信し、第２の無線端末により、第１の無線端末が送信したメロディを受けこのメロディを鳴動するため、ＴＶ電話中にＴＶ電話に直接関係のないメロディを送受しこのメロディを聞くことができる。

【００４８】

また、本発明のテレビ電話方式によれば、第１の無線端末により、第２の無線端末とＴＶ電話中に、操作者の指示に従いメッセージを第２の無線端末に送信し、第２の無線端末により、第１の無線端末が送信したメッセージを受けて表示するため、ＴＶ電話中にＴＶ電話に直接関係のないメッセージを送受しこのメッセージを見ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明のテレビ電話方式の第１の実施の形態を示すブロック図である。

【図２】本発明の第１の実施の形態の動作の一例を示すフローチャートである。

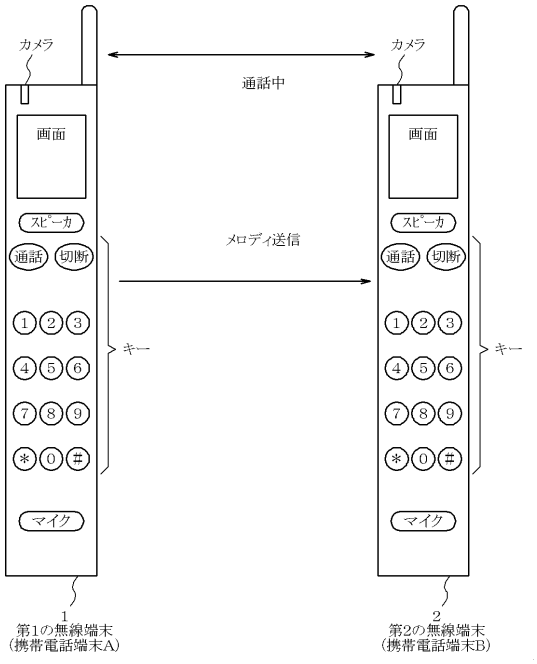
【図３】本発明のテレビ電話方式の第２の実施の形態を示すブロック図である。

【図４】本発明の第２の実施の形態の動作の一例を示すフローチャートである。

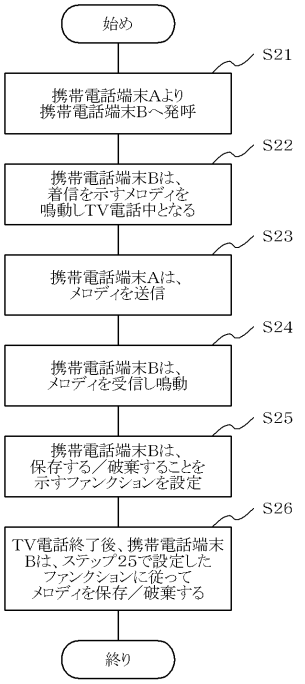
【符号の説明】

１　携帯電話端末Ａ
２　携帯電話端末Ｂ
３　携帯電話端末Ａ
４　携帯電話端末Ｂ

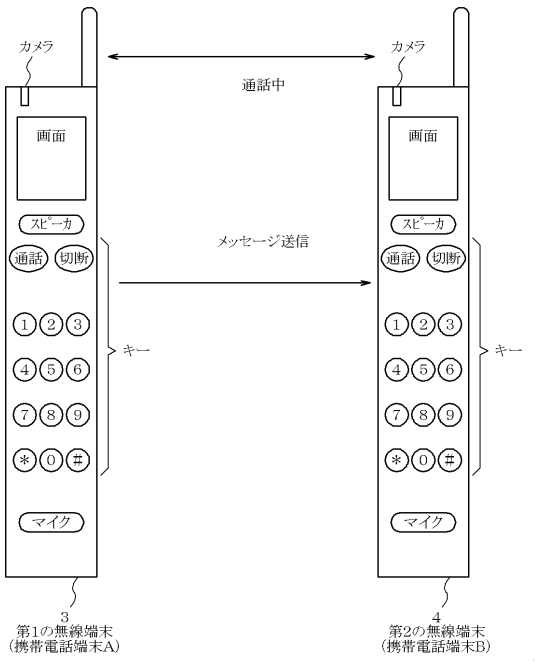
【図１】


カメラ
カメラ
通話中
画面
画面
スピーカ
スピーカ
メロディ送信
通話
切断
通話
切断
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃
キー
キー
マイク
マイク
1
第1の無線端末
（携帯電話端末A）
2
第2の無線端末
（携帯電話端末B）

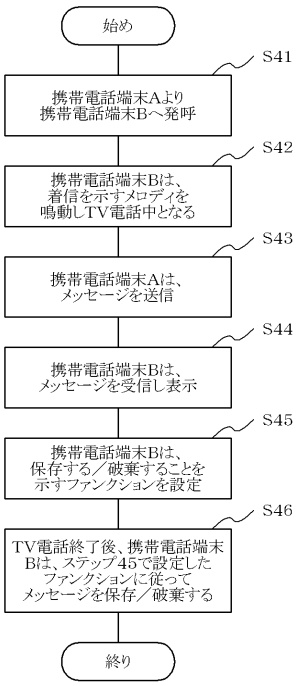
【図２】


始め
S21
携帯電話端末Aより
携帯電話端末Bへ発呼
S22
携帯電話端末Bは、
着信を示すメロディを
鳴動しTV電話中となる
S23
携帯電話端末Aは、
メロディを送信
S24
携帯電話端末Bは、
メロディを受信し鳴動
S25
携帯電話端末Bは、
保存する／破棄することを
示すファンクションを設定
S26
TV電話終了後、携帯電話端末
Bは、ステップ25で設定した
ファンクションに従って
メロディを保存／破棄する
終り

【図３】


カメラ
カメラ
通話中
画面
画面
スピーカ
スピーカ
メッセージ送信
通話
切断
通話
切断
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 ＃
キー
キー
マイク
マイク
3
第1の無線端末
（携帯電話端末A）
4
第2の無線端末
（携帯電話端末B）

【図４】


始め
S41
携帯電話端末Aより
携帯電話端末Bへ発呼
S42
携帯電話端末Bは、
着信を示すメロディを
鳴動しTV電話中となる
S43
携帯電話端末Aは、
メッセージを送信
S44
携帯電話端末Bは、
メッセージを受信し表示
S45
携帯電話端末Bは、
保存する／破棄することを
示すファンクションを設定
S46
TV電話終了後、携帯電話端末
Bは、ステップ45で設定した
ファンクションに従って
メッセージを保存／破棄する
終り

フロントページの続き

(72)発明者　本山　衡
神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目１６番８号　エヌイーシーモバイリング株式会社内

Ｆターム(参考) 5C064 AA01 AC01 AC02 AC06 AC08 AD06
5K067 AA21 BB04 BB21 DD52 EE02 EE10 EE16 FF02 FF23 FF25
FF27 FF32 HH22
5K101 KK20 LL12 NN12 NN23